

No.	事業名	貢献度	優先度	総合評価	総合評価の考え方	改善点	課名
1	地域公民館事業	B	B	市:業務改善	生涯学習機会の充実と社会教育の推進を図る上で貢献度、優先度ともに高い事業である。新公民館体制の構築に向けて、事業の見直しを図りながら、参加者増加に努めること。	【青海地域】 新公民館体制への移行に伴い、事業の実施・運営方法等の見直しについて検討していく。 【能生地域】 職員配置により新たな事業を地域全体で企画することによって参加者の増につなげる。	生涯学習課
2	成人教育事業	B	B	市:業務改善	費用対効果を考え、参加しやすい内容の見直しを行う等、参加者の確保に努めること。	多くの人に学習機会を提供するため、事業実施は継続したいが、参加者の求めるニーズの把握を積極的に行い、今後の事業に活用する。	生涯学習課
3	青少年活動事業	C	B	市:業務改善	費用対効果を考え、事業内容を見直す等、効率的な事業執行に努めること。	参加児童の増加を図るため、地域の特色を活かした事業を計画すると共に、地域内小学校にはチラシを配布するなどの事業PRに努める。平成24年度より、青少年活動事業(能生)はふるさと楽習塾と統合し、家庭教育支援事業のふるさと楽習塾親子塾へ移行。	生涯学習課
4	図書館資料整備事業	B	B	市:現状維持	図書館機能の充実を図る上では、貢献度、優先度ともに高い事業である。資料整備については、現状のとおり、実施すること。また、開館時間の延長や図書館サポーター等の人材確保について、検討すること。	資料の充実に努めるとともに、管理体制の見直しやボランティアの導入を検討し、効率的な運営を行う。開館時間や休館日については、利用者ニーズの把握を行い、検討する。	生涯学習課